



東京理科大学と葛飾区との連携による公開講座

食文化交流史としての

中華料理

— 近代日本と中国の間 —

ラーメンや餃子など「町中華」から、最近話題の「マールータン」まで、
おなじみの中華料理は、いつ、どのようにして日本へ渡り、独自の進化を遂げたのか。

この講座では、身近なメニューを通して、明治以降の日中の歴史を紐解きます。

美味しい記憶と歴史が交差する、知的な学びの時間へようこそ。

2026 **8.26** (水)
10:30-12:00

受講料無料
先着100人

15歳以上の方

会場

東京理科大学 葛飾キャンパス

講義棟1階 E101教室

葛飾区新宿6-3-1



リ カイエ
講師 **李 海燕** 准教授 東京理科大学 教養教育研究院 葛飾キャンパス教養部

一橋大学にて博士学位取得後、日本学術振興会外国人特別研究員を経て、2013年度より東京理科大学専任教員。専門は東アジア地域研究。主な著書に、『和解学叢書6 文化・記憶—想起する文化をめぐる記憶の軌跡 欧州・アジアのメディア比較と歴史的考察』（共著、明石書店、2023年）、『東アジア冷戦の文化』（共著、Somyong出版、2017年、韓国語）、『戦後の「満州」と朝鮮人社会—越境・周縁・アイデンティティ』（単著、御茶の水書房、2009年）などがある。

講師からのメッセージ

本講座では、誰もが一度は口にしたことのある中華料理のさまざまなメニューを手がかりに、明治以降の中華料理の歴史的展開をたどり、その背後にある日中関係について考えます。身近な食を通じて、異文化の受容と変容について考えてみましょう。皆さまのご参加をお待ちしています。

お申し込み

東京理科大学の申し込みフォームからお申し込みください。

申込期間： **7/27**（月）9:00 ▶ **8/18**（火）17:00

定員に達し次第、募集は終了となります。

*フォームからのお申し込みが難しい場合は、東京理科大学 葛飾統括課 地域連携室までご連絡ください。

申し込みフォーム



お問い合わせ

①東京理科大学 葛飾統括課 地域連携室 **03-5876-1546**

②葛飾区教育委員会事務局 生涯学習課 **03-5654-8475**

①・②とも問合せは平日9時～17時です。

※8月10日（月）～8月21日（金）の平日は、問合せ先は②のみとなります。

アクセス



※会場にお越しの際は公共交通機関をご利用ください。
(駐車場はありません)

状況により内容が変更になる場合があります。

主催 東京理科大学 / 葛飾区教育委員会